



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL https://suminoe.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 経営企画室部長 (氏名) 薄木 宏明 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 2020年2月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	48,602	△1.4	1,190	△11.9	1,130	△16.2	474	△3.9
2019年5月期第2四半期	49,309	0.2	1,351	1.4	1,350	△10.9	493	△43.4

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 1,133百万円(395.7%) 2019年5月期第2四半期 228百万円(△89.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	70.83	—
2019年5月期第2四半期	67.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	91,692	35,004	33.0
2019年5月期	87,975	35,271	34.8

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 30,294百万円 2019年5月期 30,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年5月期	—	35.00			
2020年5月期(予想)			—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△2.7	2,600	△16.6	2,800	△5.3	1,300	178.3	196.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年5月期2Q	7,682,162株	2019年5月期	7,682,162株
2020年5月期2Q	1,149,246株	2019年5月期	837,557株
2020年5月期2Q	6,697,034株	2019年5月期2Q	7,347,963株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(会計方針の変更)	P. 12
(セグメント情報)	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、雇用、所得環境は堅調となったものの、米中貿易摩擦の激化懸念や英国のEU離脱問題などから、世界規模での経済の減速感が強まり、先行きの不透明な状況が続きました。

インテリア業界においては、新設住宅着工戸数は前年同期を下回ったものの、非住宅分野では都市部を中心として引き続き需要がありました。

自動車業界においては、国内市場の生産台数は前年同期に対し10月以降減少傾向となり、海外市場では米中貿易摩擦による中国市場の減速の影響が欧州ならびにアジア経済にも波及し、需要が低迷しております。

当社グループは、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」の最終年度を迎え、「企業ガバナンスの再構築」と「事業の成長」の2テーマのもと、目標達成に向け諸施策を展開しております。

企業ガバナンスの再構築	① 業績管理体制の見直し
	② 内部統制の再構築
事業の成長	① 取扱い商材の拡大
	② グローバル化の強化
	③ 高付加価値商材の開発・販売

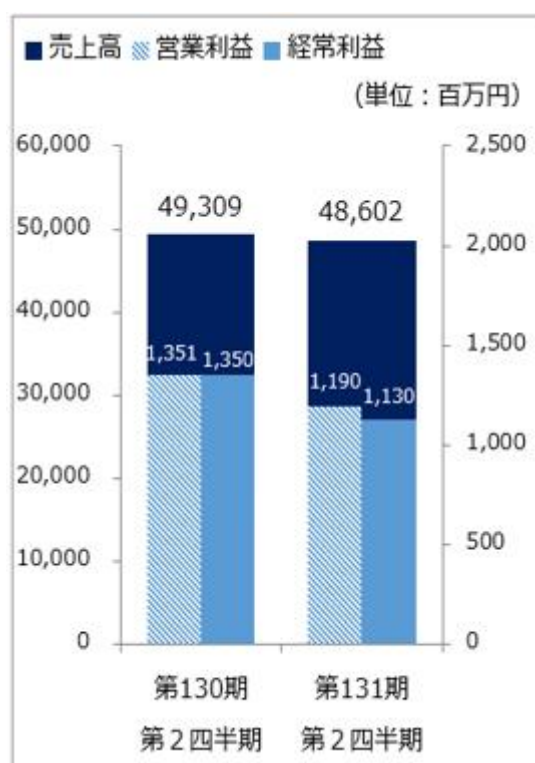
インテリア事業では、インバウンドやオリンピックによるホテル、商業施設案件や、オフィス需要を積極的に取り込むと同時に、利益率の高い商材への選択と集中を進め、利益確保に努めております。また、カーテンと壁装材の販売強化にも取り組んでおります。

自動車・車両内装事業では、自動車関連は、合成皮革などの非繊維商材の技術開発と受注拡大に取り組むとともに、原材料調達およびグローバル車種の生産地の最適化による原価低減を進めております。車両関連は、従来のファブリック素材のみならず、シートクッション材や安全対策商材の拡販に努めております。

機能資材事業では、これまで中国のみに製造拠点を有しておりましたが、サプライチェーン安定のため、新たにベトナムに子会社を設立し、工場稼働に向けて準備を進めております。

グループ全体では、経営管理体制の高度化を実現するべく、基幹システムの再構築や連結業績管理の精緻化に取り組んでおり、事業の成長に向けた土台づくりを今後も着実に進めてまいります。

このような状況のもと当第2四半期における連結業績は、以下のとおりとなりました。



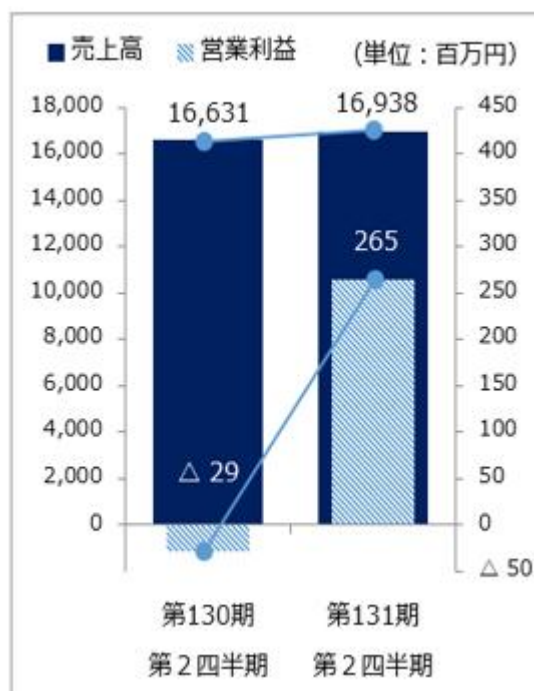
売上高は、インテリア事業、機能資材事業は堅調に推移したものの、世界的な経済環境の影響を受け海外の自動車関連売上が伸び悩んだことにより、前年同期比1.4%減の486億2百万円となりました。

売上が減少したことに加え、基幹システム再構築関連の減価償却費が増加したこと等から、営業利益は同11.9%減の11億90百万円、経常利益は同16.2%減の11億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同3.9%減の4億74百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高		営業利益	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
インテリア事業	16,938	1.8	265	—
自動車・車両内装事業	28,824	△3.4	1,609	△13.1
機能資材事業	2,763	0.1	171	△12.3
その他	74	4.5	35	△18.0
小計	48,602	△1.4	2,081	1.0
調整額	—	—	△890	—
合計	48,602	△1.4	1,190	△11.9

(インテリア事業)



売上高は、オフィスビルや商業施設、ホテル物件向け業務用カーペットおよびカーテンの好調な受注により、前年同期比1.8%増の169億38百万円となりました。原材料費、物流費は増加傾向にあるものの、商品販売価格改定と利益率の高い商材への注力により、営業利益は2億65百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

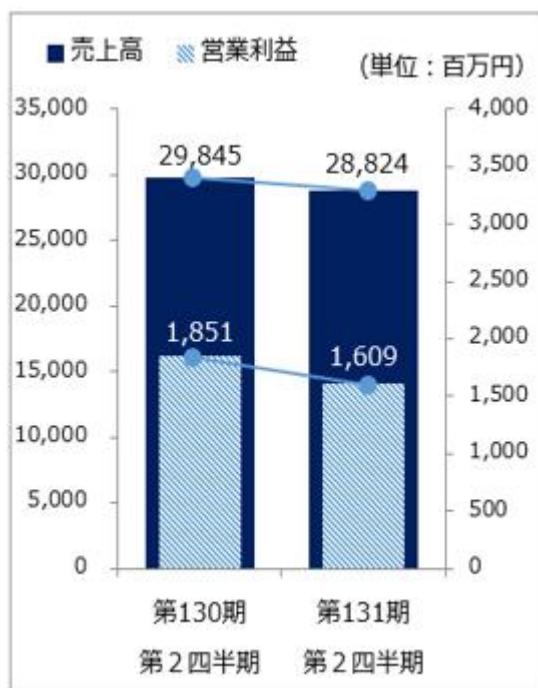
業務用カーペットのうち、タイルカーペットは海外輸出額が減少しましたが、国内では大型物件もあり堅調に推移しました。ロールカーペットは、インバウンド需要を受けて宿泊施設や商業施設用が伸長した結果、売上は前年同期比6%増となりました。

家庭用カーペットは、利益率を重視し、利益率の高い商材への選択と集中を進めたため、売上は同15%減となりました。

カーテンの売上は、一般家庭向け「U Life® Vol.9」ならびに医療・福祉・教育施設向け「Face」が好調だったことに加え、「mode S® Vol.9」の新発売も寄与し、同10%増となりました。

壁装関連は、壁紙が堅調に推移したほか、襖紙は増税前の駆け込み需要で大きく伸長し、売上は同8%増となりました。

(自動車・車両内装事業)



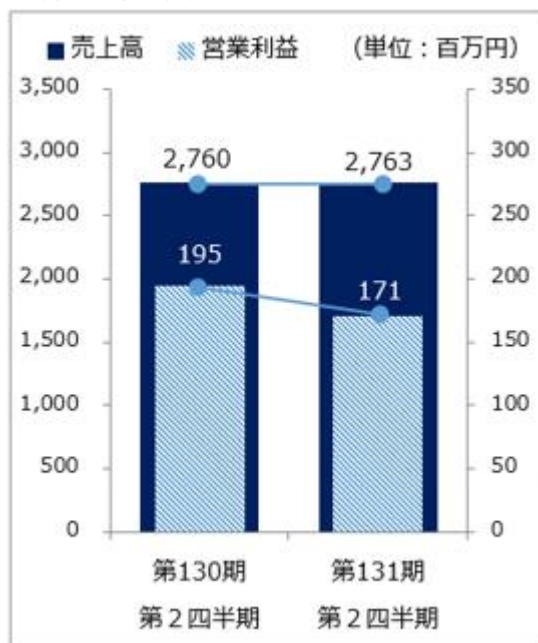
車両関連では、鉄道・バス向けが好調に推移しましたが、日系自動車メーカーのグローバル販売台数が伸び悩み、自動車関連売上は減少しました。その結果、売上高は前年同期比3.4%減の288億24百万円、営業利益は同13.1%減の16億9百万円となりました。

国内の自動車関連売上は、受注車種の販売が伸び悩んだことで、前年同期比3%減となりました。

海外の売上は、米中貿易摩擦の長期化による世界的な自動車生産台数の減少の影響を受け、特に中国、インド、タイでの販売が縮小し、同6%減となりました。

車両関連では、鉄道ならびにバスにおいて、新車案件や定期的な修繕工事の計画が復調し、受注が好調に推移しました。また、安全対策商材やシートクッション材「スミキューブ®」等の非繊維商材も売上に貢献しました。

(機能資材事業)



主力製品である季節性商材のホットカーペットは、暖冬の影響もあり出荷時期が第3四半期にずれ込み売上が減少しました。その他、ブラシ用毛材「KEAT・貴糸®」の受注減がありましたが、土木用資材の採用が増えたこと等により、売上高は前年同期比ほぼ横ばいの27億63百万円となりました。

営業利益は、試作費等製造費用の増加により、同12.3%減の1億71百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、IFRS第16号「リース」を適用した影響によるリース資産の増加および当第2四半期会計期間の期末日が休日であったことによる電子記録債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ37億16百万円増加し、916億92百万円となりました。

負債につきましては、電子記録債務の増加および短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ39億83百万円増加し、566億87百万円となりました。

純資産につきましては、自己株式の買付による株主資本の減少等により、前連結会計年度末に比べ2億66百万円減少し、350億4百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、76億69百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加等により、24億8百万円の収入（前年同期は3億50百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、13億35百万円の支出（前年同期は11億63百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出等により、10億76百万円の支出（前年同期は31億52百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、2019年7月12日に発表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,880	7,821
受取手形及び売掛金	18,180	18,922
電子記録債権	5,673	7,654
商品及び製品	9,367	9,982
仕掛品	2,011	1,733
原材料及び貯蔵品	4,287	3,504
未収還付法人税等	166	71
その他	3,100	2,731
貸倒引当金	△29	△32
流動資産合計	50,638	52,389
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,611	17,608
その他(純額)	8,749	9,882
有形固定資産合計	26,361	27,490
無形固定資産		
無形固定資産	1,421	1,558
投資その他の資産		
投資有価証券	6,932	7,924
繰延税金資産	1,587	1,203
その他	1,184	1,283
貸倒引当金	△150	△157
投資その他の資産合計	9,554	10,254
固定資産合計	37,336	39,303
資産合計	87,975	91,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,193	15,977
電子記録債務	4,425	5,719
短期借入金	9,755	11,115
未払法人税等	458	563
その他	3,946	4,630
流動負債合計	33,779	38,006
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	7,293	6,724
繰延税金負債	554	341
役員退職慰労引当金	95	98
退職給付に係る負債	4,303	4,303
その他	5,178	5,714
固定負債合計	18,924	18,681
負債合計	52,704	56,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,651
利益剰余金	10,777	11,012
自己株式	△2,423	△3,387
株主資本合計	20,560	19,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913	2,542
繰延ヘッジ損益	△6	5
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	601	373
退職給付に係る調整累計額	△277	△256
その他の包括利益累計額合計	10,028	10,463
非支配株主持分	4,682	4,710
純資産合計	35,271	35,004
負債純資産合計	87,975	91,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	49,309	48,602
売上原価	39,246	38,594
売上総利益	10,062	10,007
販売費及び一般管理費	8,710	8,816
営業利益	1,351	1,190
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	84	84
不動産賃貸料	118	134
その他	111	77
営業外収益合計	320	305
営業外費用		
支払利息	165	143
持分法による投資損失	31	53
為替差損	18	86
不動産賃貸費用	16	16
訴訟損失引当金繰入額	38	—
その他	52	64
営業外費用合計	321	365
経常利益	1,350	1,130
特別利益		
固定資産売却益	11	2
投資有価証券売却益	—	103
特別利益合計	11	105
特別損失		
固定資産除売却損	14	26
特別損失合計	14	26
税金等調整前四半期純利益	1,347	1,210
法人税、住民税及び事業税	505	527
法人税等調整額	8	△53
法人税等合計	513	473
四半期純利益	833	736
非支配株主に帰属する四半期純利益	339	262
親会社株主に帰属する四半期純利益	493	474

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	833	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△626	628
繰延ヘッジ損益	13	10
為替換算調整勘定	19	△265
退職給付に係る調整額	16	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	1
その他の包括利益合計	△605	396
四半期包括利益	228	1,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	908
非支配株主に係る四半期包括利益	326	224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,347	1,210
減価償却費	877	966
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	29
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△291	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	9
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	38	—
受取利息及び受取配当金	△90	△93
支払利息	165	143
持分法による投資損益(△は益)	31	53
固定資産除売却損益(△は益)	2	23
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△103
売上債権の増減額(△は増加)	△2,321	△3,032
たな卸資産の増減額(△は増加)	13	259
仕入債務の増減額(△は減少)	70	2,338
未収消費税等の増減額(△は増加)	19	13
未払消費税等の増減額(△は減少)	△89	47
その他の流動資産の増減額(△は増加)	554	323
その他の流動負債の増減額(△は減少)	162	677
その他	374	△123
小計	869	2,748
利息及び配当金の受取額	159	93
利息の支払額	△165	△145
訴訟関連損失の支払額	△531	—
法人税等の支払額	△778	△387
法人税等の還付額	96	100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△350	2,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△126	△150
定期預金の払戻による収入	120	124
有価証券の取得による支出	△11	△9
有価証券の売却及び償還による収入	14	11
有形固定資産の取得による支出	△653	△993
有形固定資産の売却による収入	10	67
無形固定資産の取得による支出	△187	△280
投資有価証券の取得による支出	△331	△8
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	175
関係会社株式の取得による支出	—	△272
貸付けによる支出	△0	△2
貸付金の回収による収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,163	△1,335

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△278	1,627
長期借入金の返済による支出	△586	△721
リース債務の返済による支出	△299	△448
自己株式の取得による支出	△1,454	△971
配当金の支払額	△263	△239
非支配株主への配当金の支払額	△270	△323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,152	△1,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,685	△85
現金及び現金同等物の期首残高	9,411	7,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,725	7,669

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を557,500株取得した一方、2019年8月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を2,750株処分いたしました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第2四半期連結累計期間において自己株式が、963百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,387百万円となっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において有形固定資産のその他が1,077百万円、流動負債のその他が252百万円、固定負債のその他が782百万円それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,631	29,845	2,760	49,237	71	49,309	—	49,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	367	4	1	372	88	460	△460	—
計	16,998	29,850	2,761	49,610	159	49,769	△460	49,309
セグメント利益 又は損失(△)	△29	1,851	195	2,017	43	2,061	△709	1,351

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△709百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△719百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,938	28,824	2,763	48,527	74	48,602	—	48,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	3	0	369	84	453	△453	—
計	17,304	28,827	2,764	48,897	158	49,056	△453	48,602
セグメント利益	265	1,609	171	2,046	35	2,081	△890	1,190

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
- 2 セグメント利益の調整額△890百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△893百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。